

一般財団法人 神奈川県高等学校教育会館 主催

2019年度 教職員のための夏季教育講座 募集案内

講座A 8月5日(月)午前

労働教育を学校に位置付けるために

卒業生の労働実態を聞いてみると、正社員の労働条件が過酷であるため非正規労働を選ばざるをえない者、過労死レベルの長時間労働に苦しむ者、訴えることもできずにパワハラで退職した者等々が多くいます。県行政もワークルール教育を推奨していますが、学校現場への定着度は高いとは言えません。キャリア教育の根幹に労働教育を据えるため、何をすればいいのか、考えていきたいと思えます。

講師 竹信三恵子さん

ジャーナリスト・和光大学名誉教授。1976年、朝日新聞社に入社。同社編集委員兼論説委員、和光大学現代人間学部教授などを経て、2019年4月から同大名誉教授。ジェンダー差別や労働について報道を続け、「貧困や雇用劣化、非正規労働者問題についての先駆的な報道活動」に対し2009年、貧困ジャーナリズム大賞。著書に『ルポ雇用劣化不況』(岩波新書、日本労働ペンクラブ賞受賞)、『しあわせに働ける社会へ』(岩波ジュニア新書)、『家事労働ハラスメント』(岩波新書)、『正社員消滅』(朝日新書)、『企業ファースト化する日本～虚妄の働き方改革を問う』(岩波書店)など。

講座C 8月6日(火)午前

かながわのインクルーシブ教育

神奈川県がすすめてきた支援教育の理念を大事にしながら、共生社会の実現をめざして始まった「かながわのインクルーシブ教育」について、世界や国のさまざまな動き、支援教育との関連、各段階におけるとりくみ等の視点から背景と今後について考えます。

講師 田口雅己さん

前神奈川県教育委員会インクルーシブ教育推進担当部長
1980年、神奈川県公立中学校教員
1991年、神奈川県立養護学校教員
2002年、神奈川県教委・障害児教育課主幹
2003年、神奈川県立養護学校教頭
2007年、同・副校長
2009年、神奈川県教委・教職員課専任主幹
2011年、神奈川県立養護学校校長
2013年、神奈川県教委・特別支援教育課長
2015年、同・インクルーシブ教育推進担当部長
(2019年3月、退職)

講座B 8月5日(月)午後

新テストの現状と今後の課題
高大接続を視野に入れて

大学入試センター試験の後継として、2020年度から導入される新テスト(大学入学共通テスト)は、試行テストを全国で行い、実施に向けて本格的にスタートしたと見られています。しかし、この新テストは依然として肝心の部分が不透明であり、超えるべきハードルはいくつも残っています。これまでの経過と現状を報告して、今後の対応について考えていきたいと思えます。

講師 大堀精一さん

(株)学研アソシエ 学力開発事業部。学研に入社以来、高校生を対象にした雑誌・進路情報・小論文などの分野で仕事を続けてきた。現在は月間情報誌「学研・進学情報」監修、小論文入試問題分析プロジェクトチーム編集長を兼務。「自分の言葉を持って社会をリアルに生きる」をモットーに、毎年、全国各地の高校生・教員を対象に200回以上の講演を行っている。

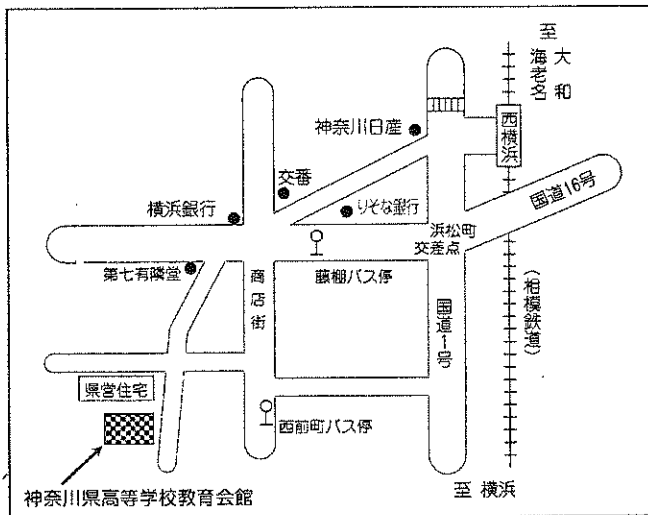
講座D 8月6日(火)午後

次期学習指導要領は、高校現場を
どのように変えようとしているのか

次期学習指導要領に沿った教育課程編成の準備が各学校で行われています。次期学習指導要領は、高校現場をどのように変えようとしているのでしょうか。今一度、そのめざすもの、留意すべき点、新しいとりくみの可能性などを具体的に学び、合わせて、編成に際して各学校の抱えている課題についても共有したいと思えます。

講師 池田賢市さん

中央大学(文学部教育学専攻)教授・博士(教育学)。大学では、教育制度学・行政学、教育学概論などを担当。専門は、フランスの教育制度。とくにフランスにおける移民の子どもへの教育政策および「障害児・者」への政策をインクルージョンの観点から検証している。著書に『フランスの移民と学校教育』(単著、明石書店)、『世界の公教育と宗教』(共著、東信堂)、『教育格差』(共編著、現代書館)、『法教育は何をめざすのか』(編著、アドバイテージサーバー)、『特別の教科 道徳』つてなんだ?』(共著、現代書館)など。



期 間 8/5 (月) ・ 8/6 (火)
 時 間 午前講座 9:30 ~ 12:00
 午後講座 14:00 ~ 16:30
 会 場 神奈川県高等学校教育会館
 横浜市西区藤棚町2-197

..... 切り取らず、この面をそのまま 045-231-2536 へ FAX

2019教職員のための夏季教育講座 受講申し込み書

お名前 _____ 学校名* _____

受講の可否を受信する F A X 番号** _____ (学校・自宅)

* 教職員・学生以外の一般の方もお申し込みできます。一般の方はご住所をご記載下さい。
 ** 3, 4日以内には受講可能かどうかご連絡します

《 参加希望講座 》

□にレ点を入れてください。

<input type="checkbox"/> 講座 A 8/5 (月)	<input type="checkbox"/> 講座 B 8/5 (月)
<input type="checkbox"/> 講座 C 8/6 (火)	<input type="checkbox"/> 講座 D 8/6 (火)

- ◎ 申込期間 6月17日 (月) ~ 7月6日 (土)
- ◎ 定員 (いずれも30名) に余裕がある場合はそれ以後もお受けしますので、お電話下さい。
 高校教育会館 TEL 045-231-1180
- ◎ 申し込み書は切り取らず、このまま F A X してください。
 高校教育会館 FAX 045-231-2536
- ◎ 申し込み順に受講者を決定し、「受講の可否を受信する F A X 番号」宛に通知します。

今年の夏期講座の申し込みは電子メールでも可能です。
 その場合には、
 宛先は yukiko@fujidana.com、件名は「夏季教育講座 受講申し込み」としていただき。
 また本文で、お名前と学校名 (一般の方はご住所) と参加希望講座をお送りください。

